

新「大学入学共通テスト」にむけて

大学入試センター試験の後継として、2021年1月から大学入学共通テストが始まります。現中3生がまさにこの新しいテストを初めて受けることになることはすでにご存じのことと思います。よって、この試験がどのような力を必要とするのか、ということをはっきり知っておくべきで、しかるべき対策をとっていく必要があります。当塾は中学生の高校受験をサポートする塾であるため大学受験には直接関わることはありませんが、この大学受験にむけて必要な力というものを中学生のうちから培っていくことは絶対に必要になります。

では、一体どういう力が求められているのでしょうか。すでにご存じとは思いますが、この新テストは単なる暗記だけでは太刀打ちできず、今まで以上に思考力、判断力、表現力が必要であると言われています。当塾ではこれらの力こそが将来子ども達が社会に出て行く上で一番必要な力であると考えていますので、23年前の開塾以来最も力を入れてきました。今回の入試改革につきましても「やっとな変わってきたか・・・」の感が強く、歓迎こそすれとまどいなどは全くありません。したがって、当塾としましては指導の方針を変えることなく、これまでやってきたことを地道に続けていくつもりです。当塾の卒業生たちは自分達の学んできたことに胸を張って、さらに新しい世界に飛び込んでもらえたらと思います。

ただ、ここで卒業していく中3生に一つアドバイスをさせていただきます。新しい入試が求めている3つの柱が思考力と判断力と表現力です。思考力の向上は、今までどおり論理的によく考え、暗記に頼らないよう勉強を進めて行けばまちがいはなく図られます。問題は判断力と表現力です。これは個人差もありますが、“得意だ”と言える人はそれほど多くはありません。そこで、今まで以上に物事をよく見て“判断すること”そして“表現すること”に積極的に取り組み、あえて自分を鍛えていってください。授業を聞けば、その内容を自分の言葉でまとめましょう。絵画や音楽など芸術に触れる機会があれば、その感想をできるだけたくさんの言葉を使って書いてみましょう。普段のニュースに対してもアンテナを高くして、いろいろなことに疑問や興味を持ち、判断する力を高めましょう。こういったことの積み重ねが思わぬ力になります。机に向かうことだけが勉強ではありません。周りを見る目を鍛え、それを言葉にすることを是非今後実践してみてください。3年後のすばらしい力になることを約束しますよ。

さて、同じ事が現塾生諸君にも言えますね。塾の授業では今まで同様どんどん自分で判断させ、自分の言葉で表現させていきます。今まで以上に積極的にくらいついてきてくださいね。